

防災・減災のネットワーク

「2015年 国連防災世界会議」に向けて



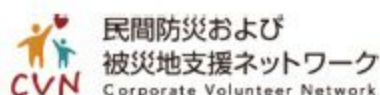
ホームページ <http://jcc2015.net/>

PBVは、2015年3月に仙台で開催される「第3回国連防災世界会議」に向け、東北被災地での活動実績を持つ NGO/NPOなど約80団体が集まる

「2015防災世界会議日本CSOネットワーク(JCC2015)」の事務局メンバーです。会議の主催事務局である国連ISDR(国際防災世界戦略)や海外の主要NGO、外務省、内閣府、仙台市などの関連機関との調整のほか、様々な企画運営、提言活動にも積極的に参加しています。

※ピースボートは、国連経済社会理事会との特別協議資格を持つ国際NGOとして、「第3回国連防災世界会議」の公式Organizing Partnerに選定されました。

企業、NGO/NPO、行政の垣根を越えるために



ホームページ <http://cvnet.jp/>

「民間防災および被災地支援ネットワーク(CVN)」には、社員ボランティア派遣などの東北復興支援に携わった民間企業・NGO/NPO・中間支援団体などが、

各セクターの垣根を越えて参加しています。ネットワークの強みを活かし、単独では実現が難しい被災地支援や災害に備えるプロジェクトを行っています。

※CVN発刊の実務書「災害支援の手引き」は、ホームページから冊子版ご購入(1冊1,000円)・無料閲覧が可能です。

その他、PBVは下記ネットワークのメンバー団体です。

国際協力NGOセンター(JANIC) / 震災がつなぐ全国ネットワーク / ジャパン・プラットフォーム / 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN) / GNDR(Global Network for Disaster Reduction)

国際NGO「ピースボート」

ピースボートは1983年以来、世界各地をめぐる「国際交流の船旅」をコーディネートしてきた非営利の国際NGOです。世界中の人々との出会いを通じて、国と国との利害関係を越えた草の根のつながりをつくることを目指して、これまでに80回以上の航海を行ってきました。2013年までの30年間で、世界200以上の国と地域をめぐる、のべ5万人以上の方々が参加しています。



ホームページ <http://www.peaceboat.org/>

PEACE
BOAT

一般社団法人
ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-2F-A
TEL: 03-3363-7967(10:00~18:30/土日祝定休)
FAX: 03-3362-6073 MAIL: kyuen@pbv.or.jp

「ピースボートセンターいしのまき」でも活動中!
<http://pbv.or.jp/ishinomaki-psen/>



サポート会員・募金にご協力ください。

サポート会員(1年間)

個人 一口 5,000円
団体 一口 100,000円

※二口以上のご協力も可能です。

継続した東北での支援活動、国内外の災害救援、災害ボランティアの人材育成など、PBVの事務局運営を支える「サポート会員」や、各プロジェクトへの募金にご協力ください。

会員特典

- ・季刊誌「START」と年次報告書をお送りします。
- ・各種講演会・イベントを優先してご案内いたします。
- ・会員同士の集いの場に、ご参加いただけます。



会費・募金へのご協力

郵便振替

郵便振替口座: 00120-9-488841 (※下6桁は右ツメ)
口座名: 社)ピースボート災害ボランティアセンター

ゆうちょ銀行

ゼロイチキュー店(019店)当座 0488841
社)ピースボート災害ボランティアセンター

クレジットカード決済による募金

VISA、MasterCardを通じた募金方法の詳細は、下記ホームページから
<http://pbv.or.jp/donate.html>

人こそが人を支援できる
ということ PEACE BOAT Disaster Relief
Volunteer Center



インターネットで受けられる 災害ボランティア検定 実施中!

一般社団法人
ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)

[オフィシャルサイト] <http://pbv.or.jp/>

[English website] <http://peaceboat.jp/relief/>

PEACE
BOAT

PBVの活動



ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)は、東日本大震災を受けて2011年4月に設立した一般社団法人です。“国境を越えた災害支援は、地域や世界の平和をつくる”と、1995年の阪神・淡路大震災以来、世界各地で災害救援を行ってきた国際NGOピースボートでの想いと経験を受け継いで活動を行っています。

ピースボートの主な災害支援活動(2014年5月現在)



- 1995年・阪神淡路大震災 / 2004年・新潟中越地震 / 2007年・新潟中越沖地震 / 2011年・東日本大震災 / 2011年・台風12号水害 / 2012年・新潟豪雪被害 / 2012年・九州北部豪雨災害 / 2013年・夏季集中豪雨・台風 / 2013年・伊豆大島台風26号
- 2007年・コリア集中豪雨による大水害 ● 1999年・台湾大地震 ● 2008年・中国・四川大地震 ● 2006年・インドネシアジャワ島大地震 ● 2004年・スリランカスマトラ島沖地震
- 2005年・パキスタンカシミール地方大地震 ● 1999年・トルコ大地震 / 2011年・トルコ大地震 ● 2003年・アルジェリア大地震 ● 2005年・米国ハリケーンカトリーナ / 2012年・米国ハリケーンサンディ / 2013年・米国オクラホマ巨大竜巻 ● 2009年・フィリピン台風 / 2013年・フィリピン台風30号(ハイエン) ● 2010年・コロンビア豪雨水害 ● 2010年・ベネズエラ豪雨水害 ● 2010年・チリ大地震 ● 2012年・グアテマラ沖地震



阪神・淡路大震災(神戸市長田区)



巨大台風ハイエン(フィリピン)



台風26号(伊豆大島)

東日本大震災 東北での活動

宮城県石巻市、女川町

大きな被害を受けた宮城県石巻市と女川町に、事前研修を受けた大規模なボランティアを派遣し、多様な支援プロジェクトを展開してきました。多国籍の国際ボランティアや企業ボランティアも、積極的に受け入れました。現在も地元の方々と一緒に、まちづくりや産業再生などの復興支援を続けています。



3年間の総ボランティア数

日別ボランティア総活動人数	87,504 人(派遣人数 14,759 人)
国際ボランティア延べ活動人数	3,510 人(56の国と地域)
団体ボランティア・コーディネート数	106 の企業・団体・学校

主な実施プロジェクト

- 炊き出しの提供 **約10万7千食**
- 避難所でのお手伝い **60ヶ所**
- 泥かき・清掃活動 **約2,150件**
- 仮設住宅への物資配布 **1,320世帯**
- コミュニティセンター運営 **約1万1千人利用**
- イベントや地元のお祭りのお手伝い **継続中**
- 情報誌「仮設きずな新聞」発行・配達 **継続中**
- 体験・滞在型の漁業支援ボランティア **継続中**



福島

自然災害に加え、原発事故による被害を受けた福島県。目に見えない放射能への不安で、子どもたちは大きなストレスを抱えながらの生活が続いています。子どもたちの海外での保養と国際交流を目的とした「福島子どもプロジェクト」や国際会議での証言・情報発信など、様々な取り組みを行っています。



「福島子どもプロジェクト」呼びかけ人

加藤登紀子さん(歌手) / 鎌田實さん(医師・作家) / 香山リカさん(精神科医) / 田部井淳子さん(登山家) / 田中優さん(環境活動家)

災害ボランティア・トレーニング

「減災」を担う人材の育成

「防災」が被害そのものの発生を抑える取り組みであるのに対して、「減災」は発生した被害を最小限にするための取り組みです。被災地の現場で「減災」の活動を担うボランティアの育成は、平常時にこそ全国各地で行うべき将来の災害への備えです。



災害ボランティア入門 [セミナー形式 / 参加無料]

初級 災害への備え、災害支援の一般知識や心構え、被災地で注意すべきケガや病気など、3.5時間のセミナーです。

災害ボランティア検定 [ネット検定 / 3,000円(税別)]

上記セミナーに参加できない方でも、パソコンで気軽に学べるインターネット検定です。

リーダートレーニング [講座・ワークショップ / 5,000円(会員3,000円)]

中級 被災者とボランティアのコミュニケーション、被災地での安全管理やリーダーシップを学ぶ2日間のプログラムです。

スキルアップ&ネットワーク [資格取得・想定訓練など]

中〜上級 野外救急救命、ジェンダーの視点やコーディネーターの役割を学ぶ講習など。合宿形式のキャンプも実施しています。

役立つ防災教育

わが家の災害対応入門 [ワークショップ / 90分]

「家の地震対策は大丈夫?」「避難生活には何が必要?」など、素朴な防災の疑問に答える教材・ワークショップ。一人暮らし、ルームシェア、家族で同居など、家庭環境に合わせたヒントを学べるのが特徴。



石巻市民発! 支援を活かす地域力 [教材]

東日本大震災で最も多くのボランティアを受け入れた宮城県石巻市。住民へのインタビューを基に、被災した住民側の視点で、外部からのボランティアとの協働を考える教材・ワークショップです。



講演や出張セミナーも行っています!

「災害ボランティア・トレーニング」や講演、ワークショップは全国各地に出張しての開催も可能です。また事前にご相談いただければ、英語での実施も可能です。お気軽にご相談ください。